



## 国際シンポジウム「日越関係 50 年：過去、現在、そして未来」の開催

2023 年 9 月 14 日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

日越外交関係樹立 50 周年の機を捉え、ハノイにて、ベトナム社会科学アカデミー付属東北アジア研究所（VASS-INAS）<sup>1</sup>が主催する国際シンポジウム「日越関係 50 年：過去、現在、そして未来」が開催されました。9 月 14 日・15 日の 2 日間にわたって行われるプログラムは、政治・外交・安全保障、経済、文化・教育、歴史、社会に関連する 5 つの部門からなり、日本人研究者 10 名、ベトナム人研究者 13 名、合計 23 名の研究者が発表を行います。初日の 14 日には、VASS から日越大学古田元夫学長に対し、長年にわたるベトナム研究、学術振興などへの貢献を称え「ベトナム社会科学事業貢献メダル」が贈呈されました。本シンポジウムには国際協力機構（JICA）、国際交流基金、専修大学が協賛、協力しています。

14 日の開幕式では、在越日本大使館山田滝雄（やまだ・たきお）大使、JICA ベトナム事務所菅野祐一（すがの・ゆういち）所長、国際交流基金ベトナム日本文化交流センター土井克馬（どい・かつま）所長、専修大学佐々木重人（ささき・しげと）学長ら政府機関、大学関係者など約 150 名が参加しました。開幕式に続く講義では、日越の研究者が、政治・外交・安全保障等における日越関係について発表し、登壇者、参加者間の活発な討議が行われました。翌 15 日は、VASS-INAS と専修大学による講義およびディスカッションが予定されています。

JICA は日本の近代化と開発途上国への開発協力から得た経験と教訓を共有する機会を海外にも広げることを目的とし、途上国のトップクラスの大学などを対象にした「JICA チェア」を 2020 年から実施しており、ベトナムにおいては 2021 年から事業を開始しています。本シンポジウムに対し、JICA は「JICA チェア」の枠組みを通じ、VASS-INAS の研究者の日本における教材の構成や日越関係の展開などに係る調査、シンポジウムへの日本からの著名な研究者の派遣などを協力しています。

JICA は今後も日越の様々なパートナーの皆様と連携、協力し、ベトナムにおける日本に関する研究を推進するとともに、両国の緊密な友好関係の強化とベトナムの持続的な発展を目指します。

---

お問い合わせ：JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 5005 (内線 137) E-mail: [Seki-Riona@jica.go.jp](mailto:Seki-Riona@jica.go.jp)

---

<sup>1</sup> 政府直系の研究機関である VASS（ベトナム社会科学アカデミー）の付属機関。東北アジアに関する基本的な問題を研究する機能を持ち、政府の方針・政策策定に科学的根拠を提供。1993 年の設立当初は日本研究の機関であったが、2004 年に東北アジア研究所に改組された。